



～ 開削200年目の2016年に世界かんがい遺産に登録された、拾ヶ堰を訪ねよう～

三角島に続く「安曇野の扇状地の地形を訪ねる」。宮崎さんが案内人のシリーズ第2弾は拾ヶ堰です。開削200年目の2016年に世界かんがい遺産に登録され、一躍脚光を浴びるようになりました。

一面の桑畑だった安曇野を田園地帯に変貌させた、江戸時代の十ヶ村を結ぶ拾ヶ堰。奈良井川から烏川に至る約15 kmを、どのようにして高低差わずか5m、工期3ヶ月で完成することができたのか？ どうして常念岳に向かって流れ、直角に曲がったり、川との立体交差があったりするの？

安曇野をこよなく愛し、不動産を本業とする土地のプロが、扇状地の地形から見た拾ヶ堰の秘密に迫ります。（案内人：宮崎崇徳さん）

参加はココブラ信州のホームページから、お申し込みください。 要会員登録
<http://cocobura.jp/course/1381/>

日時 7月21日 9:00～11:00

集合 安曇野市役所堀金支所 支所へ駐車可能

定員 10名

参加費 1,500円（保険料込）

申込み 6月25日～7月20日

参加はココブラ信州のホームページから、お申し込みください。 要会員登録
<http://cocobura.jp/course/1381/>